



シチズングローバルプラン2018レビュー  
と  
2018年度の取り組み方針

**2018年5月11日**

**シチズン時計株式会社**

**代表取締役社長 戸倉 敏夫**

従前発表資料より

時計事業

改めて  
**グループ成長の核**と位置づける

工作機械事業

時計事業に次ぐ**第2の柱**へと育成

小型精密部品事業

次なる成長事業へ

デバイス/電子機器  
その他事業

利益向上による**経営の安定**

- ①体質の強化
- ②勝てる製品への集中
- ③他社との連携強化

## 中期経営計画のステップイメージ

### Step 1

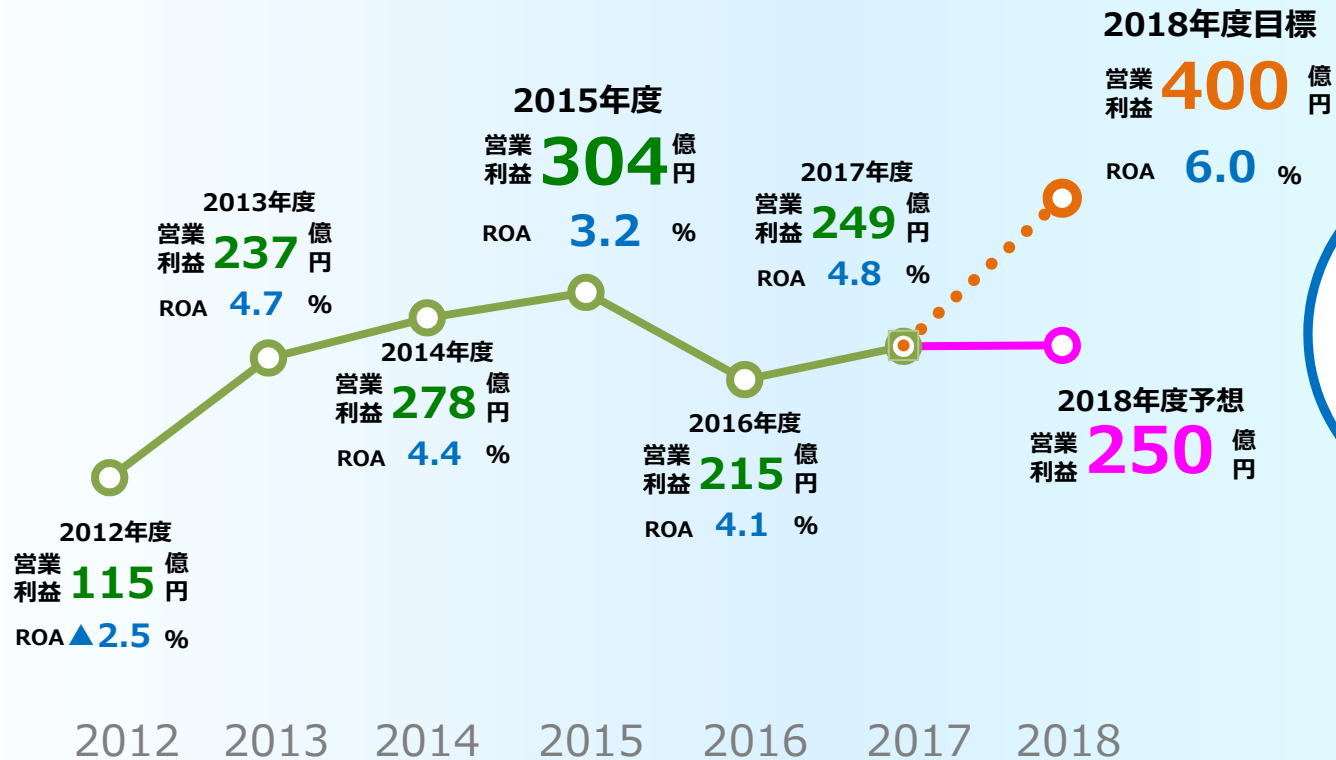
徹底した構造改革・体質強化  
による成長の土台作り

### Step 2

積極的投資  
による業績拡大

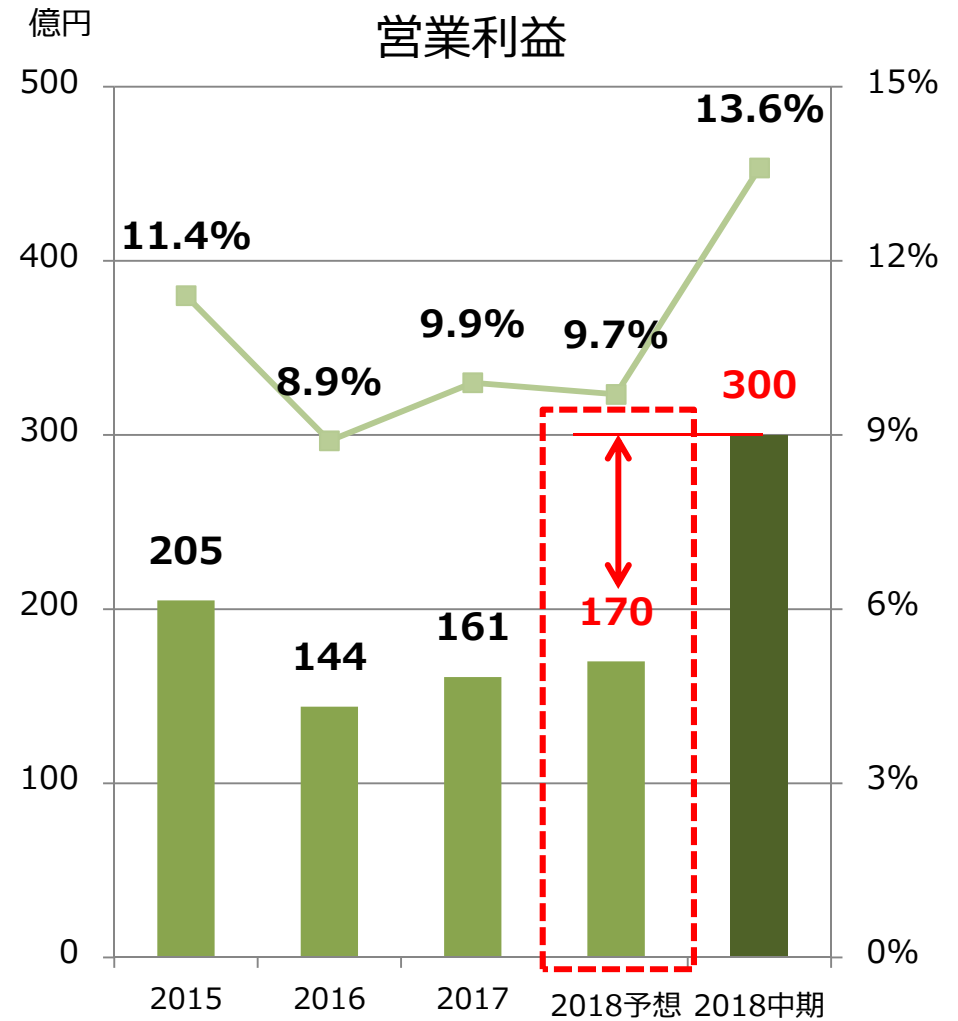
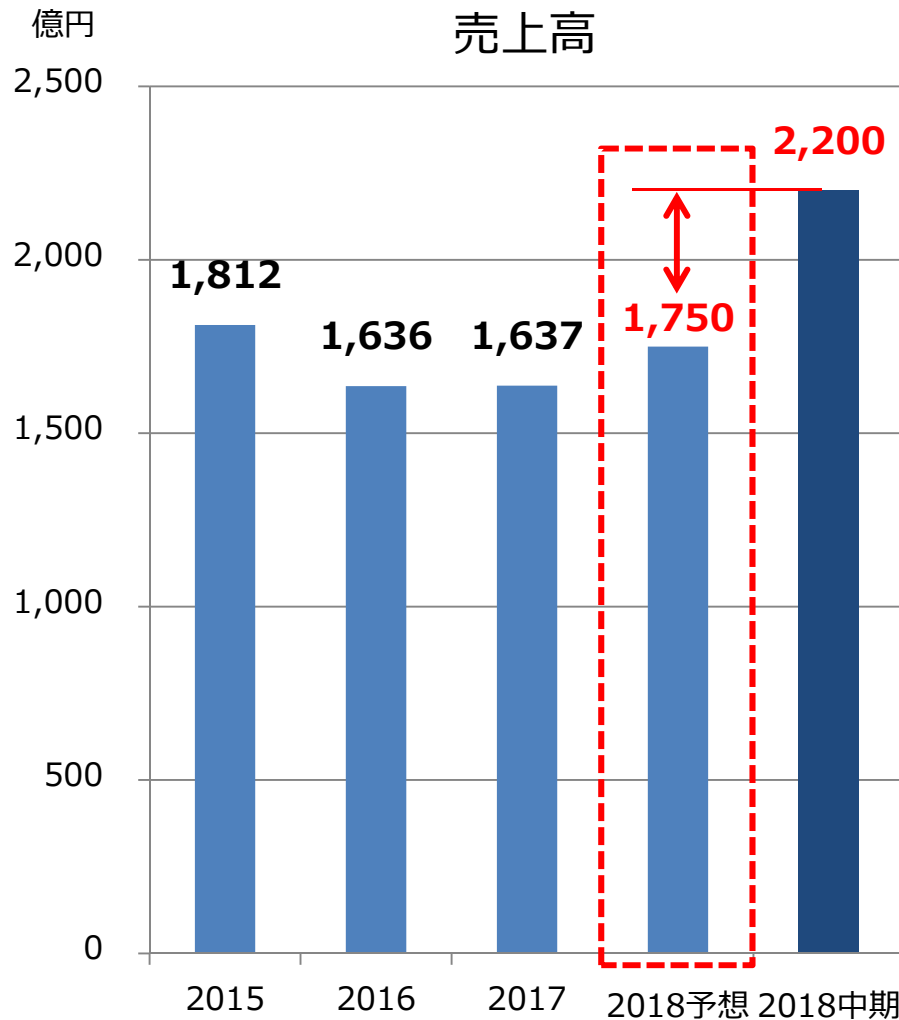
### Step 3

ありたい姿の実現

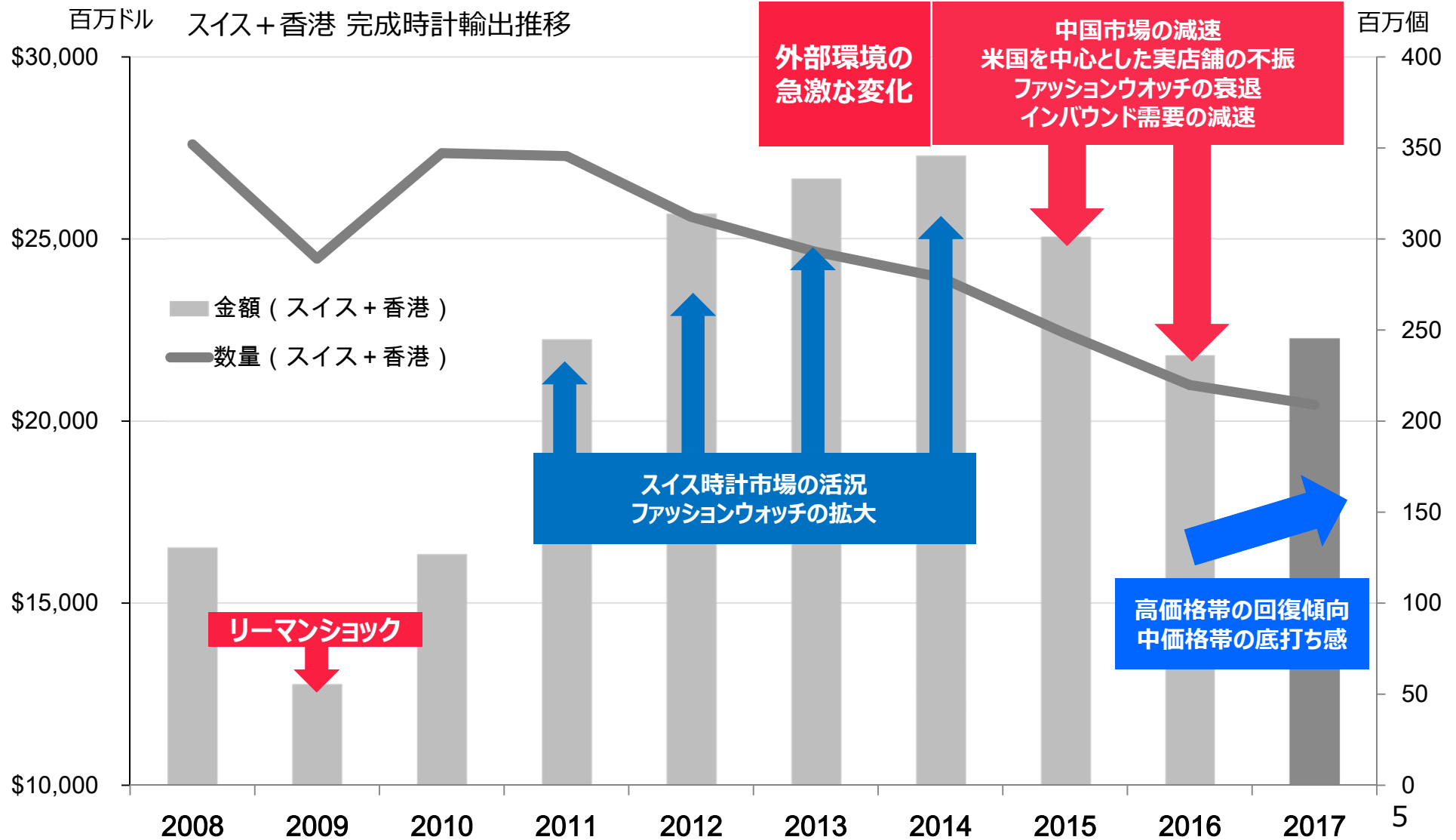


世界で勝ち抜く  
真のグローバル  
企業へ

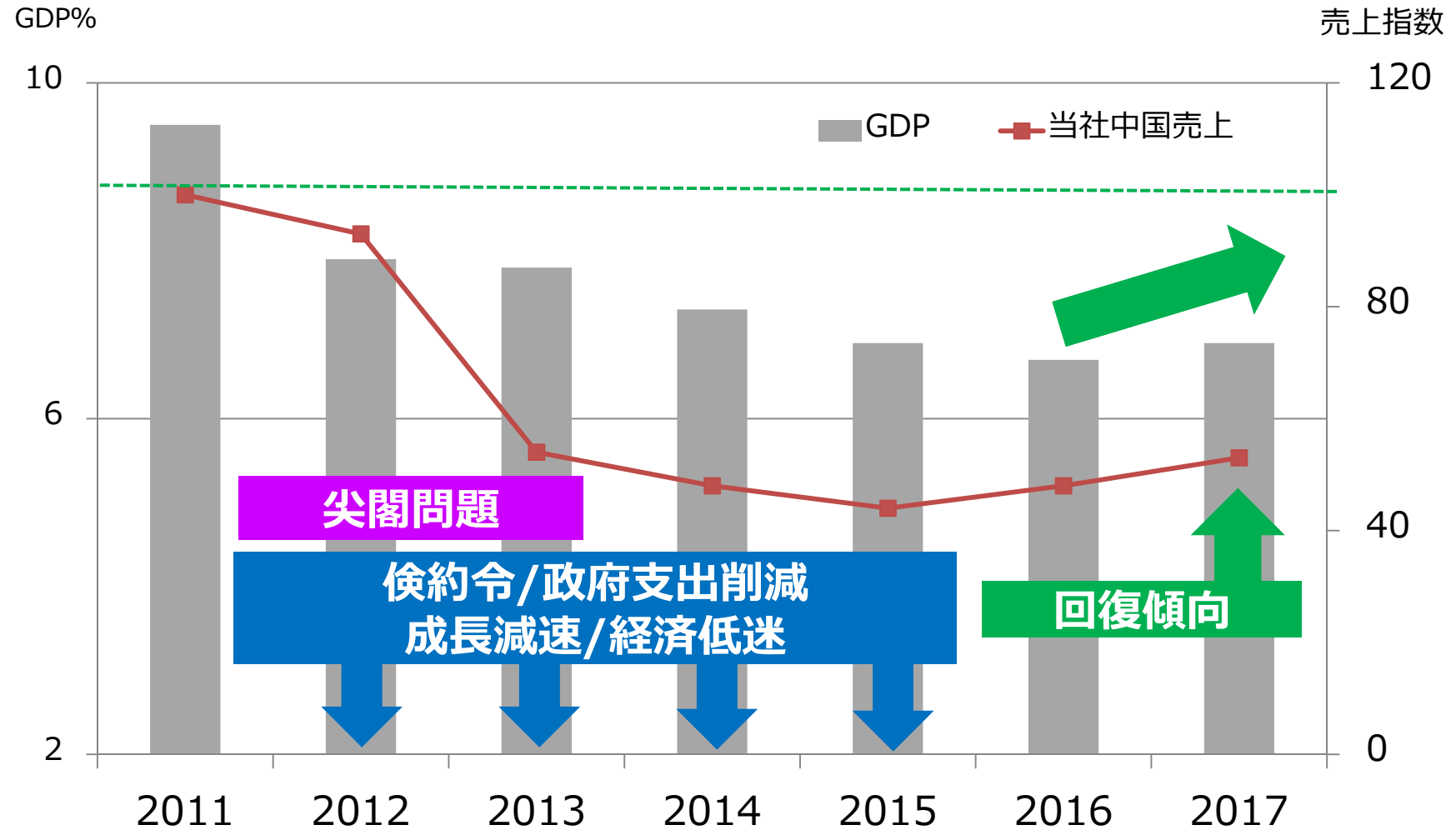
施策は確実に実施するも、外部環境の変化もあり中期経営計画は未達



## 1. 時計市場全体の急激な縮小



## 2. 中国市場の減速



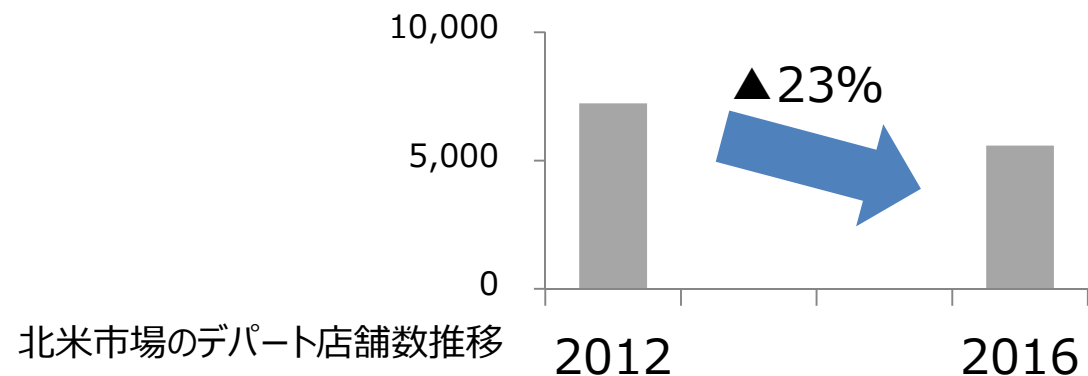
## 3. ファッションウォッチの衰退

ボリュームゾーンである低中価格帯の落ち込みが、ムーブメント販売へ影響

## 4. 流通の変化

相次ぐ実店舗の閉鎖とEコマースの躍進

(Eコマースの拡大も、実店舗の落ち込みを補うには至らず)



## 5. インバウンド需要の低迷

2015年度をピークにバブルに沸いたインバウンド需要が急減速

モノ消費からコト消費への嗜好変化

## 製造革新による原価低減の進捗遅れ

2013年10月 時計関連6社を統合し、シチズン時計マニュファクチャリング(株)発足

2016年12月 世界最大級のムーブメント組立工場、ミヨタ佐久工場竣工

生産体制再編による、合理化とコスト削減を推進



→ **一定の成果は得られたが、不十分**



## CITIZEN、BULOVAの販社統合

北米市場では、中価格帯でシェア拡大に成功  
2018年度は、北米以外の販社統合の推進

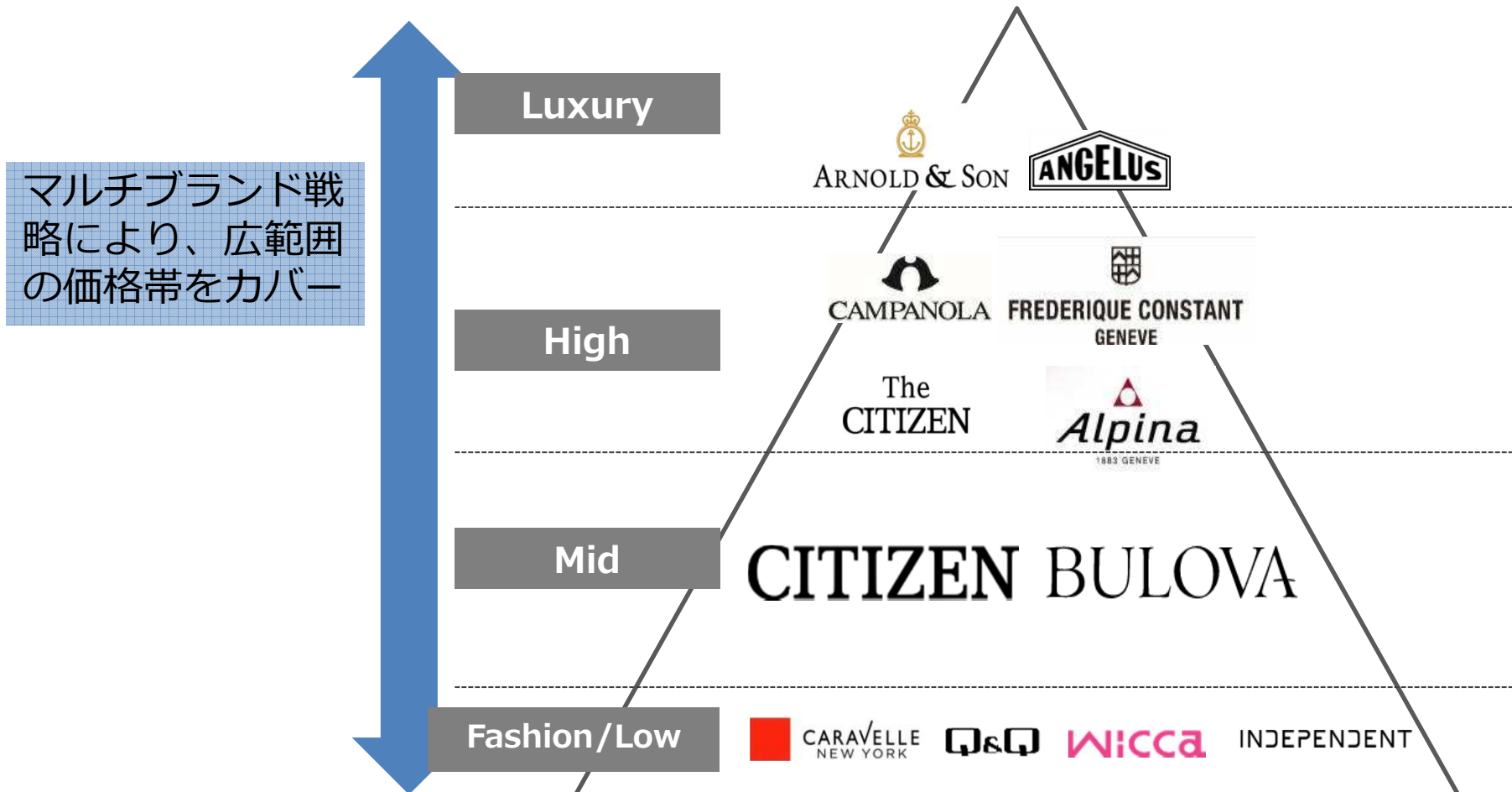
CITIZEN × BULOVA

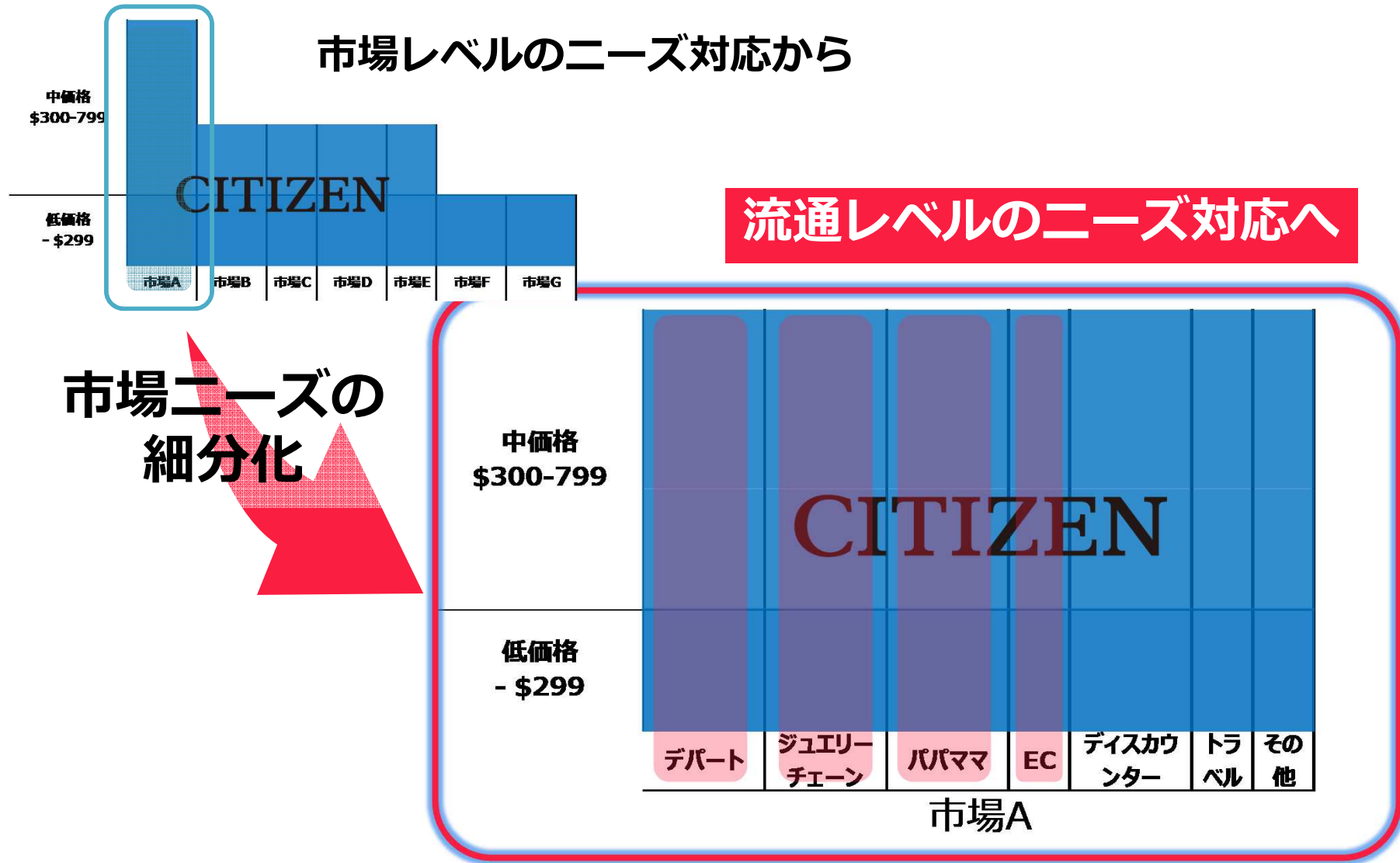
## Frederique Constant買収による高価格帯への参入

  
FREDERIQUE CONSTANT  
GENEVE



多様化するニーズを捉え、多品種少量生産への対応力を強化





2018年度を新中期経営計画の助走期間と位置付け、  
次なる取り組みを加速

# Top Lineを上げる

ボリュームゾーンの市場シェアと数量の拡大

消費者との接点である流通への対応力を強化する

セグメンテーション戦略

マルチブランド戦略の深化

## 成長に向けた投資を加速

2018年度時計事業宣伝投資 前年同期比+30億円

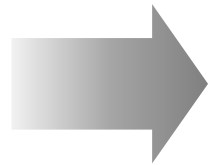
米国ディズニーリゾートと公式時計契約を締結

世界中の幅広い世代のブランド認知度向上へ

米国外のディズニーリゾートへ提携拡大を交渉中

## 多様化するニーズへ対応する製造革新

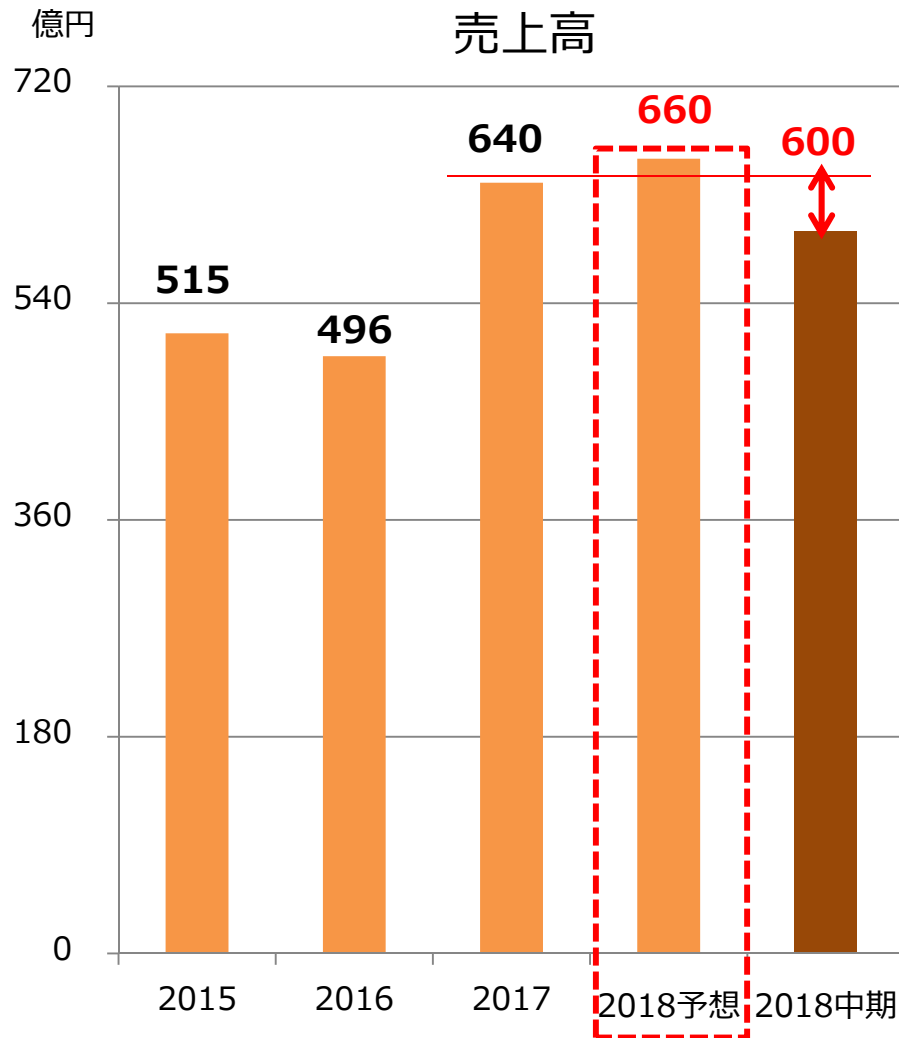
製造革新と合理化等に伴う設備投資  
2018年度時計事業設備投資見通し 前年同期比+35億円



### 更なる製造力の強化を図る

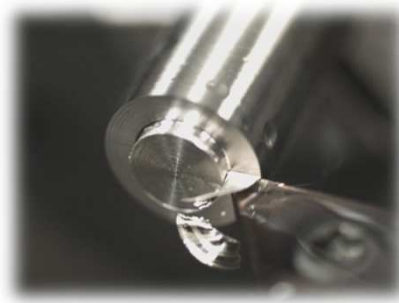
- ◆ムーブメント  
部品及び製品の徹底したコストダウン  
部品加工の自動化及び合理化
- ◆完成品の生産性向上  
最適生産方法の構築
- ◆自動化の推進
- ◆生産工程の効率化
- ◆検査の合理化

着実な施策実施と市場環境により中期経営計画目標600億円、前倒し達成！



- ◆ 最新技術を取り入れた製品開発
  - ・低周波振動切削加工技術
  - ・モジュール化を考慮した新製品開発
- ◆ ミヤノ機の拡販
  - ・日本および北米市場におけるミヤノ機の拡販
- ◆ ソリューション提案
  - 能動的なアフターサービス体制の構築
  - 技術サポートを含めたソリューション提案

時計事業に次ぐ第2の柱に成長



低周波振動切削加工



2018年度

次期中期経営計画

時計事業に次ぐ、第2の柱に成長  
次なる取り組みを進め、ありたい姿の実現へ

## 技術で差別化

- ◆LFV(低周波振動切削)技術の水平展開
- ◆IoTを活用したソリューションビジネスの強化
- ◆生産能力の強化



# CITIZEN

本プレゼン資料および説明会における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。